

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2022 年 12 月号

2022 年 12 月 1 日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

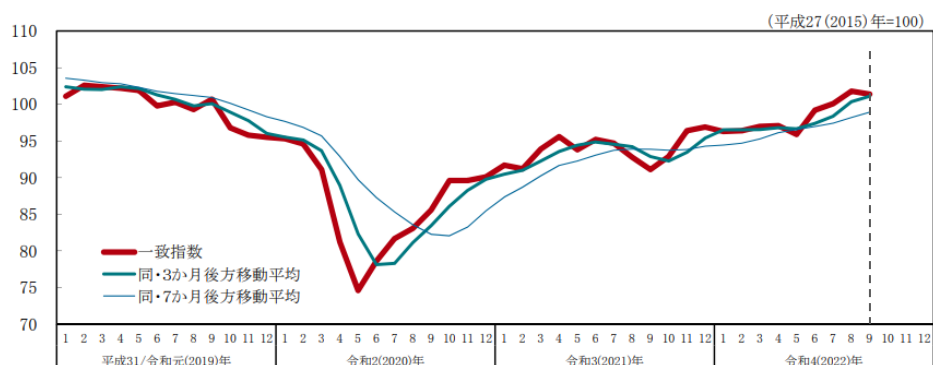
#### ■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和 4 (2022) 年 9 月分速報からの改訂状況 (令和 4(2022)年 11月24日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202209summary.pdf>

- ① 9月分 CI (平成 27(2015)年 = 100) (改訂値)は、  
先行指数：97.5、一致指数：101.4、遅行指数：99.2
- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI 一致指数) は、改善を示している。

	9月分CI (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	97.4	97.5
一致指数	101.1	101.4
遅行指数	98.9	99.2

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 4 (2022) 年 9 月分 (速報) (11月 8 日公表)」 pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202209psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202209report.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（11月）（内閣府、令和4年11月24日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/11kaigi.pdf>

#### <日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

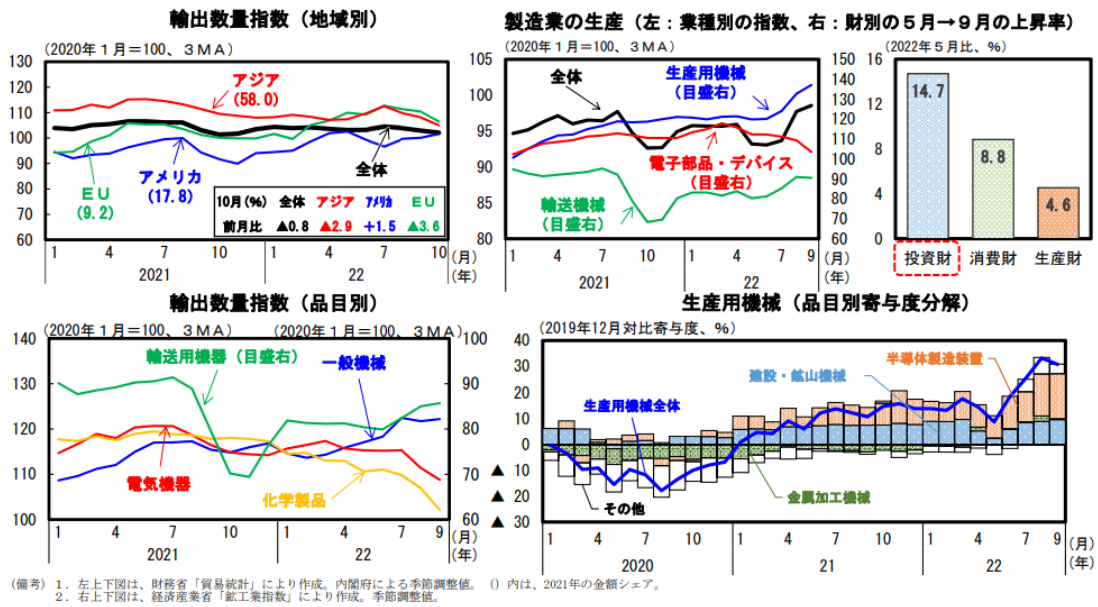
- ・ 景気は、緩やかに持ち直している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

#### 今月の指標(2) 輸出・生産

- ▶ 我が国の輸出は、全体としては概ね横ばい。品目別にみると、世界的なスマホ・PC需要の一服等に伴い電気機器及び化学製品は減少傾向であるが、自動車等の輸送機器や一般機械では増加が続く。
- ▶ 製造業の生産は、こうした輸出の動きと連動し、IC等の電子部品・デバイスが弱含みで推移する一方、供給制約の緩和に伴い輸送機械が回復しており、また、世界的に需要が堅調である半導体製造装置や建設・鉱山機械などの生産用機械が増加。財別にみると、積極的な設備投資等を背景に、機械や建設資材などの投資財が堅調な伸び。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和4年11月）」(pdf)：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/1124getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

■ 設備投資 令和4年9月実績：機械受注統計調査報告

(令和4年11月16日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

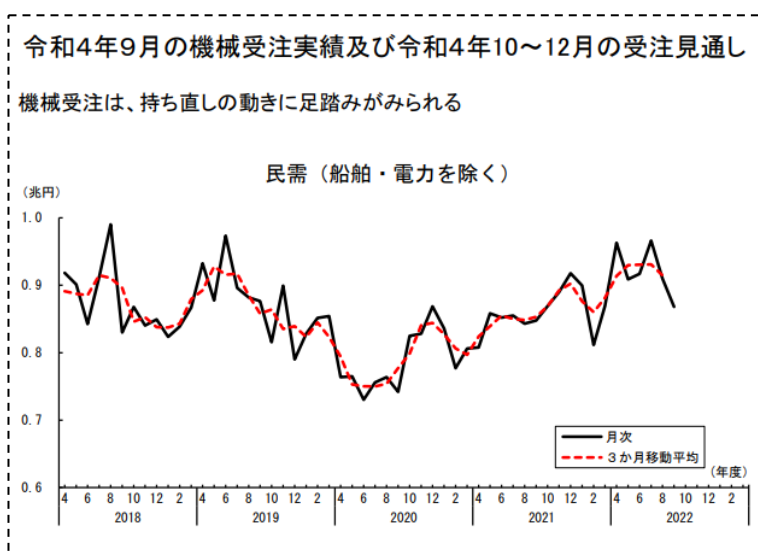
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2209juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2022（令和4）年8月前月比9.5%減の後、9月は同3.3%減の2兆5,965億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比9.0%減の9,806億円、官公需は同7.6%減の2,618億円、  
外需は同6.3%増の1兆2,968億円、代理店は同2.2%増の1,225億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2022（令和4）年8月前月比5.8%減の後、9月は同4.6%減の8,680億円となった。  
このうち、製造業は同8.5%減の4,544億円、非製造業（除く船舶・電力）は  
同4.4%増の4,247億円となった。

(以下図表は「令和4年9月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2209gaiyou.pdf>



対前月（期）比 (単位：%)

需要者	期・月	2021年 (令和3年)				2022年 (令和4年)				
		10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 見通し	6月 実績	7月 実績	8月 実績	9月 実績
受注総額		9.0	△9.7	21.0	△11.8	11.5	△2.2	0.3	△9.5	△3.3
民需		14.1	△13.9	14.3	△2.1	2.6	2.2	6.2	△5.0	△9.0
〃（船舶・電力を除く）		5.1	△3.6	8.1	△1.6	3.6	0.9	5.3	△5.8	△4.6
製造業		3.1	0.8	9.1	△2.0	2.9	5.4	△5.4	10.2	△8.5
非製造業（除く船・電）		6.8	△8.1	7.6	△1.4	4.6	△0.0	15.1	△21.4	4.4
官公需		3.6	△2.8	7.0	△12.3	30.7	0.3	△18.4	29.4	△7.6
外需		1.7	△6.6	31.4	△16.5	16.5	△4.6	△2.4	△18.9	6.3
代理店		1.4	△11.3	11.7	△2.9	7.6	△5.1	△4.7	4.9	2.2
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均		-	-	-	-	-	0.1	0.0	△1.8	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。  
2. △印は減少を示す。  
3. 見通しは2022年9月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

## ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2022年11月30日発表)

【2022年10月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202210sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202210sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015\\_202210sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202210sj.html)

### ー 生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫、在庫率ともに低下であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、11月、12月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる。

#### ・生産は、前月比-2.6%の低下。

低下業種：生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、  
化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)等

上昇業種：自動車工業、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業等

#### ・出荷は、前月比-1.1%の低下。

低下業種：生産用機械工業、自動車工業、電子部品・デバイス工業等

上昇業種：汎用・業務用機械工業、石油・石炭製品工業、電気・情報通信機械工業等

#### ・在庫は、前月比-0.8%の低下。

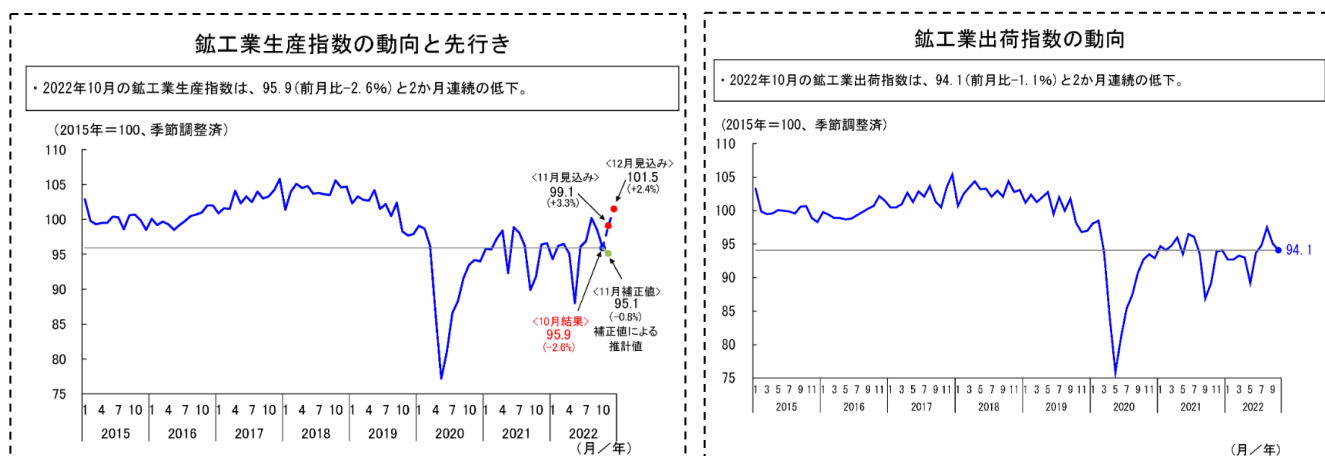
低下業種：自動車工業、電子部品・デバイス工業、鉄鋼・非鉄金属工業等

上昇業種：石油・石炭製品工業、無機・有機化学工業、生産用機械工業等

### 10月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20221130\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20221130_1.html)

(解説) 10月の鉱工業生産は、需要の減少等を受けて、生産用機械工業や電子部品・デバイス工業などが低下したことから、全体として前月比マイナス2.6%と、2か月連続の低下。基調判断は、「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」に引き下げ。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022年11月30日発表より抜粋)

#### 【2022年9月動向概況】

- ・ 2022年9月のグローバル出荷額は4,217億円、前年比114.0%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品 (前年比110.6% 1,952億円)、接続部品 (同117.7% 1,017億円)、変換部品 (同120.2% 737億円)、その他の電子部品 (同112.1% 510億円) となった。
- ・ 地域別出荷は日本 (前年比106.2% 836億円)、米州 (同137.3% 459億円)、欧州 (同124.2% 423億円)、中国 (同111.0% 1,554億円)、アジア・その他 (同112.8% 934億円) となった。

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2022.11.30 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計		
	6月		7月		8月		4月-8月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,791	108	3,706	103	3,893	109	18,275	105	
(日本)	748	97	749	93	754	108	3,616	99	
品目別	受動部品	1,911	111	1,760	101	1,806	103	8,927	105
	コンデンサ	1,373	113	1,229	99	1,265	101	6,329	104
	抵抗器	180	112	174	111	173	118	848	111
	トランス	45	124	46	132	47	140	219	125
	インダクタ	269	98	263	98	277	97	1,312	99
	その他	42	103	45	111	42	107	216	109
	接続部品	945	114	961	112	952	113	4,493	110
	スイッチ	348	108	343	107	357	116	1,654	105
	コネクタ	594	118	614	115	590	111	2,822	112
	その他	3	105	3	120	3	130	16	113
	変換部品	501	110	565	108	661	129	2,726	114
	音響部品	22	75	25	94	23	87	116	83
	センサ	205	90	212	93	207	96	1,029	94
	アクチュエータ	273	139	327	123	429	161	1,580	137
	その他の電子部品	432	86	418	91	473	104	2,128	90
電源部品	213	111	205	113	241	141	1,008	110	
高周波部品	219	70	213	77	232	82	1,119	77	

#### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2022年度»

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	6月		7月		8月		4月-8月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,791	108	3,706	103	3,893	109	18,275	105
日本	748	97	749	93	754	108	3,616	99
米州	441	126	429	128	480	137	2,161	128
欧州	378	110	340	111	361	122	1,792	111
中国	1,442	107	1,386	100	1,414	100	6,600	97
アジア他	776	111	795	106	877	109	4,088	112

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上